

## 発電所敷地内における空気中放射性物質の核種分析結果&lt;1/2&gt;

参考値

(データ集約：10/17)

採取場所	福島第一 西門						②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線業務従事者の呼吸する空気中の濃度限度)	
試料採取日時刻	2015年10月16日 7時00分～12時00分							
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)		
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03	
Cs-134 (約2年)	ND	-					2E-03	
Cs-137 (約30年)	ND	-					3E-03	

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

福島第一 西門における検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約8E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約9E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-7Bq/cm<sup>3</sup>。粒子状のI-131が約6E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約8E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約7E-8Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

## 発電所敷地内における空気中放射性物質の核種分析結果&lt;2/2&gt;

参考値

(データ集約 : 10/17)

採取場所	福島第一 1号機北側法面上		福島第一 1, 2号機西側法面上		福島第一 3, 4号機西側法面上		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)	
試料採取日時刻	対象外		2015年10月16日 8時15分～13時15分		対象外			
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)		
I-131 (約8日)	-	-	ND	-	-	-	1E-03	
Cs-134 (約2年)	-	-	ND	-	-	-	2E-03	
Cs-137 (約30年)	-	-	ND	-	-	-	3E-03	

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

O.OE-Oとは、O.O×10<sup>-O</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

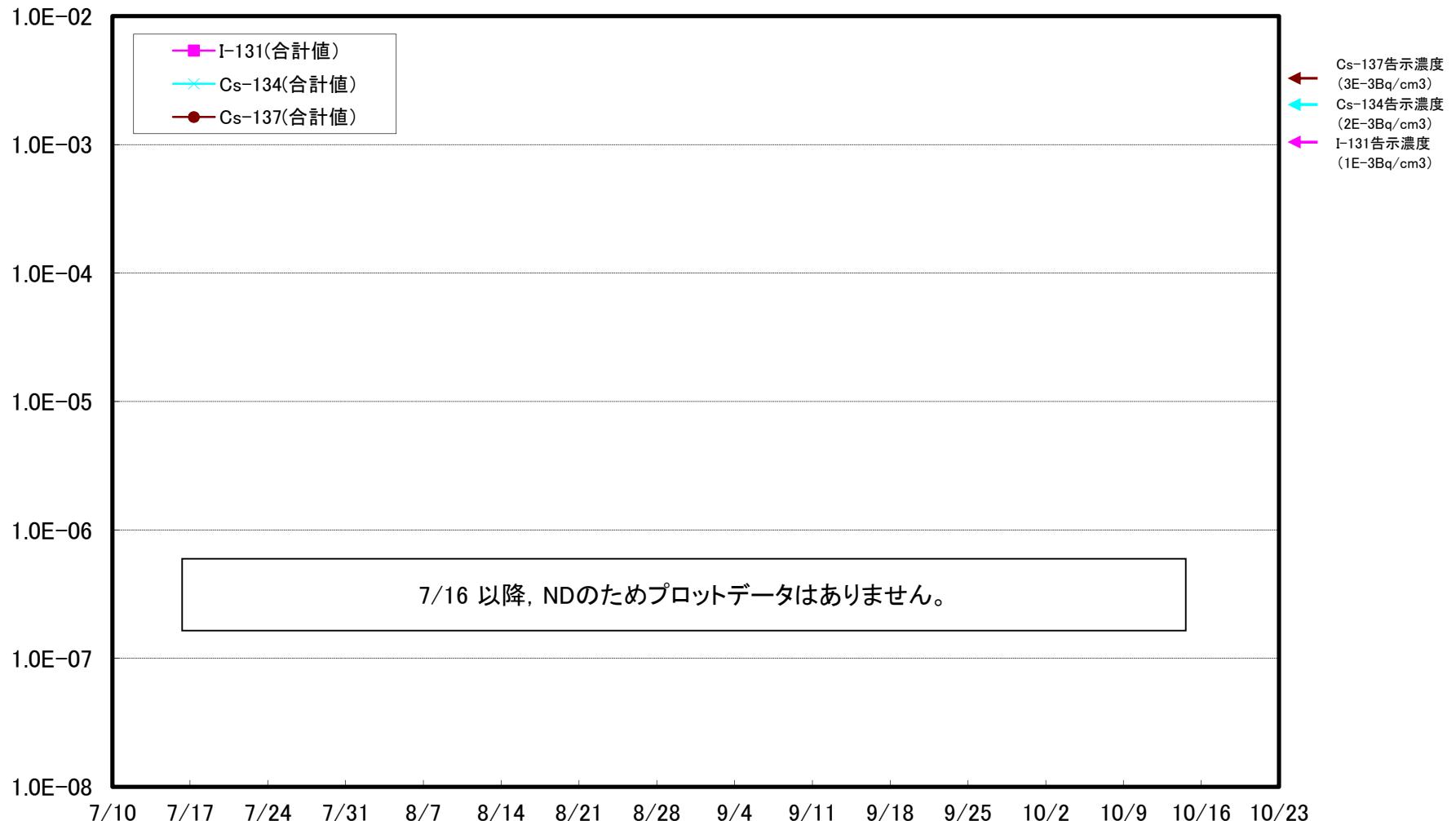
※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約9E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約2E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-6Bq/cm<sup>3</sup>。粒子状のI-131が約6E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約8E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約6E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

## 福島第一 1, 2号機西側法面上 ダスト核種分析結果( $\text{Bq}/\text{cm}^3$ )



## 福島第一 西門 ダスト核種分析結果(Bq/cm<sup>3</sup>)

